

平成29年度 第3回野洲市学童保育所運営協議会 会議録

I 日 時 平成30年3月9日（金）19:00～20:00

II 場 所 北部合同庁舎2階 会議室1

III 出席者 〈運営委員〉

千代 智子、金城 佳子、南 あづさ、野洲 操

西村 淳代、蛭原 法子（以上保護者会会長）

田中 康嗣（市自治連合会代表）、辻川 眞由美（市民生委員児童委員協議会代表）

山本 宗司（小中学校教頭会代表）、辻村 博子（市健康福祉部政策監）

井狩 重則（社協事務局長）

上田 真弓、北脇 幸、梶谷 明美、杉本 邦子、立田 裕子、

太田 千鶴（以上学童保育所所長）

〈事務局〉

水谷 威彦（事務局次長）、益田 研（福祉企画課課長補佐）

中村 江利子（学童保育担当）

〈健康福祉部〉

田中 源吾（こども課課長）、井狩 昭彦（こども課課長補佐）

角田 晴美（こども課学童保育担当）

【内容】

1 開会

2 運営協議会会長あいさつ

3 報告事項

- (1) 平成30年度 野洲市こどもの家（学童保育所）入所申込状況について
（事務局より）

参考資料①

◎ 平成30年度 野洲市こどもの家入所申込状況（受付結果）

申込みの結果としては、通年児童「729名」季節児童「273名」の合計で「1,002名」の申込みをいただいた。今年度4月1日比で「48名」の増加となった。

申込み増加の要因として、新1年生の申込みが200人を超える人数をここ何年かいただいている。また、2.3年生の低学年を中心に継続率がほぼ100%をいただいているということで、新1年生の分がそのまま増えていると思っている。学区別では、北野が「25名」祇王が「11名」の増加となっている。全体的に全ての学区で同等か、増えている。

各施設定員に対する利用率申込児童数の増加を受け、全1,030名の定員に対して、97.3%の利用率になっている。特に中主、祇王学区は100%を超える利用で、篠原学区については125%を超える利用となっている。

参考資料②

◎ 野洲市学童保育所 児童数の推移

各小学校区における学童保育所児童の在籍率を過去4年の推移とともに一覧とする。

平成26年度、市内全小学校区「3,027人」に対して、学童保育在籍人数は「800人」在籍率として26.4%

平成27年度は「843人」の28.2%。今年度29年は「3,039人」に対して「953人」の31.4%。そして来年度見込みとして、小学校児童数「3,041人」に対し、学童保育在籍人数が「1,002人」。在籍率も32.4%と市内全体の児童の約3人に1人の利用となる。

他の市町村でも同様だと思うが、野洲市の学童保育所の利用者が年々増えている。学童保育所を利用していただける方が増えるということ、また継続して利用していただける方が増えるというのは、指導員や現場からすると継続して同じ児童の成長が見られるのでやりがいにも繋がる。人数も増えているので今後、安全で安心な施設として保護者の皆様も含めて提供していきたいと考えている。

所長)・今年度から野洲第7学童保育所が開所となった経緯と運営状況の説明をさせていただく。平成28年度の夏期保育の期間に施設定員を大幅に超える利用申込があり、休所していた野洲第7学童保育所を利用して5.6年生のみの分割保育を実施した。実績を基に今年度から野洲第7学童保育所を正式に開所して7所運営を実施。

7所に分割したため定員内での安定したスペースが確保できたが、施設規模と立地が異なるため、児童の交流や指導員の連携に工夫が必要となる。

※保護者の方に7所の活動が見えるようにおたよりに子どもたちの様子を掲載して一本化する。

※子どもたちへは、全館交流活動を取り入れ、学年に合わせた集団活動の学年別交流。そして希望者の集まるカラム大会。

※毎年夏に出かけている野外活動は、1.2.3年と4.5.6年に分かれて行き先を変更。

※夏に毎年保護者会主催で「夏祭り」を開催していただいている。全館の保護者と子どもたち、指導員が集うことが出来る大行事。子どもたちが毎年楽しみにしている行事として定着。

※7所の合同保育。修学旅行の振替休日や、野洲養護学校秋休みなどの通年期間中の一日保育は、一所で保育を行い安全な見守りの出来る配置をさせていただく。

※全体の交流や合同保育を行う上でチームワークが必要。各所の声かけから全体の声かけを行い、自分の所の子もだけでなく野洲学童保育所全体の子どものことを考える意識改革を行い、協力できる体制づくりに取り組んだ。

質問)・資料①で100%を超えている学童保育所が3学区あったが、篠原学童保育所の整備をされると聞いているが、目安としてどのくらいの利用率になれば新たな学童保育所を整備していただけるのか聞かせていただきたい。

回答)・篠原こどもの家は、今年度篠原小学校のご協力で空き教室を貸していただいて、夏のご利用が多い時期に使わせていただいた。30年度の利用ですが、報告があった通り今年度を上回る申込みを篠原こどもの家ではいただいている状況。また篠原こども園の保護者の方で、今度小学校に上がった時に学童保育所を利用されるかアンケートをとっていただいた。そのようなデータに基づいてこのままでは対応できない場合が出てくることから、30年度に増設設計を組む予算を市議会にあげさせていただいた。31年度には増築工事を進めさせていただきたいと考えている。

併せて、今100%以上の数字が出ている所、祇王、中主、そして北野学区がある。今後も利用者が増えてくると推測させていただいている。祇王は第2こどもの家が第1こどもの家の上であり、ここはまだ利用していないので施設的には余裕がある。北野は竹が丘の開発によって増えるだろうという予想を踏まえて、動向を注視しながら検討していきたいと考えている。

また、先ほど申し上げた通り、夏季の利用が非常に多いので、まず夏季の申込み

を十分に検証した上で学校施設を利用していくのかどうかということも充分協議した上で、決めたいと考えている。どのような量が適当かは、ニーズにもよってくるかと考えている。一時的に増えるということもあるが、将来的にどれくらいのニーズが出てくるか充分に見定めた中で、新たな増築等の検討をしていくものと考えている。

また、整備は 120%程度をひとつの目安にしながら、将来的なニーズや、子どもたちの人数の推移などを充分に検討する。現段階では、篠原を除いて、100%超えるところもあるが、この中で対応したいと考えている。

所長)・ 篠原学童保育所平成30年の保育実施についてお伝えする。

篠原こどもの家の施設定員 60 名に対し、通年、季節保育合わせて 75 名の申込みをいただいている。利用率で 125%篠原小学校の入学児童数に対しても 46%以上の在籍率であり、この 5 年間で利用人数は 33 人増加、在籍率は 20%の上昇となった。

今年度は夏季保育期間中に小学校の余裕教室をお借りし、こどもの家との分割保育を実施。利用対象を主に 5.6 年生とすることで、学習時間や仲間同士の過ごしなど、高学年にとって安定を保障できた。

平成30年度の4月2日からの保育では 66 名の児童が登所予定。その内 17 名が新1年生、20 名が新2年生、合わせて 37 名と半数以上が低学年の構成である。

初めての生活に慣れない1年生や、環境の変化に戸惑う2年生以上の子どもたちに不安や危険が生じないように、春休みの期間中は「コミセンしのはら」にご協力いただき、和室・大ホールをお借りすることにした。

児童数の増加や二所分割によってご迷惑をおかけすることもあるが、職員間の連携をより一層深め、子どもたちの安全・安心を第一に保育に臨む所存である。

保護者さまには送迎の際など、保育場所の変更等によりご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解、ご協力のほどをお願い申し上げます。

(2) 「土曜保育」受付状況と利用申込について

(事務局より)

参考資料③

◎ 平成30年度 野洲市こどもの家入所申込状況(「土曜保育」受付)

土曜保育の実施につきましては、平成30年度から新たに開所。平成30年度は、年間48日の土曜日で実施し、開所施設として、北野学童保育所で市内の希望される児童を合同で保育する。

2月末現在の申込状況を一覧。合計申込者数36名。学年別では1年生20名が最多。小学校区別では、開所施設である北野が一番多く14名。他、篠原学区を除く全ての学区から申込がある。

土曜日を開所するにあたり、事前アンケート、市の委員会での協議を経て、開所に向けての準備をしてきた。想定していた利用者数より、少ない申込状況ですが、月別の申込みが可能であり、勤務の状況等により今後随時申込みが増えると考えている。

また、土曜保育の申込みにつきましては、それぞれ在籍している学童保育所で受け付けさせていただく。ただし、申込みに際しては保護者の方の就労等の確認をさせていただいた上で、受け付けますのでよろしくお願い申し上げます。

所長)・ 開所場所となる北野学童保育所ですが、36名の児童をお預かりしますが、進入路が狭くて一方通行のルールを定めており、利用者は事故のないよう送迎していただきたいと思っている。駐車場は、第3、第4の前と満車になった場合には第1、第2学童保育所に5台あるので安全に送迎していただきたい。

保育内容は、北野学童保育所は運動場が近いのが利点で、子どもさんたちが安全

に遊んでいただけたらと思っている。市内6小学校区から来ていただくにあたり、1年生が一番多いが、普段の保育をしている場所と違う場所に変わっているということで、不安も多いと思うが安心していただける保育内容にしていく。

土曜日なので、運動場で野球やサッカーでスポ少の方が使われていたりして、使えない場合もあると思う。北野小の先生も心配してくださっているが、遊具が小学校の前にあるので、充分に使っていただける。また、第1、第2学童保育所には、中庭があるので、竹馬や大縄跳び程度なら遊べるスペースがある。保育室でもカラやラキューなど、保育園でも馴染みの遊具を用意している。コミセンきたのからも運動場や体育館が空いてなかったら使ってくれていいよとありがたい言葉をいただいている。4月はまだ慣れていない時期なので、予約していないが、また将来的には使わせてもらってもいいなと考えている。野洲市として初めての試みなので、小学校の先生などが気にしてくださりありがたく思っている。

指導員体制は、市内の常勤指導員が当番で勤務に入る。1日保育になるので常勤指導員が4人と、時間により臨時指導員の配置も考えている。

4月に関しては、北野学童保育所と中主学童保育所が担当となっている。5月は野洲学童保育所と篠原学童、三上学童となる。

先週一緒に遊んだ指導員が今週はいないといったことになるのだが、保育日誌や連絡ノートを活用し連携しながら情報を共有し、児童が不安にならないように安心して来ていただけるような環境作りや保育内容を準備している。保護者さんもいつもと違う学童保育所で知らない指導員ということになるが、保護者さんにも安心して仕事に行っていただけるように連携を取っていきたいと思っている。

土曜日だけ急激に変えずに、いろいろな学童保育所の保育内容を参考にして大筋は子どもたちが混乱しないようにしていきたいと思っている。

質問)・ 中学2年生の職場体験があるが、どれぐらいの参加があるのか。

回答)・ 学童保育所はない。

質問)・ 幼稚園・保育園は。

回答)・ 幼稚園には3人から5人くらい来ておられた。

質問)・ 5日間、男の子も女の子も上手くいっているか気になって。

回答)・ 園児たちが「お兄ちゃん先生」「お姉ちゃん先生」と呼んで慕っていた。そう呼ばれて中学生も張り切っておんぶしたり、給食を一緒に運んだりと頑張っていた。紙芝居や体操なども張り切ってしておられた。

(3) その他

事務局)・ 毎年お願いしているのですが、いろいろご意見をいただいているが、年度末3月30日、最終日になるのですが、この日の午後、年度の切り替えということで午後の時間だけ各保護者の方で自宅保育のご協力について改めてお願いいたします。

切り替えの時期ですので、年度末保護者の方も大変忙しいと思いますが、申し訳ありませんが、新年度のスタートの準備を集中してさせていただきますので、ご協力お願いいたします。

4 閉会